

# 第 2 章

## 基本構想

# 第2章 / 基本構想

## 1 基本方針

本市のまちづくりを進めるに当たり、次の3つの基本方針を設定します。



## 2 将来像

浜田市が目指す将来像を次のとおりとします。

**住みたい 住んでよかった  
魅力いっぱい 元気な浜田**

～ 豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にするまち ～

### 将来像に込めた思い

市民の皆さんが、将来にわたって浜田市に「住みたい、住んでよかった」と思うことができ、本市の多彩な地域資源を最大限に発揮できる魅力いっぱいの元気な浜田市を目指します。

また、本市の美しく豊かな自然と、市民の温かい人情、そして人の絆を大切にするまちを目指します。

## 3 基本構想の期間

基本構想の期間は、平成28(2016)年度を初年度として、令和7(2025)年度を目標年度とする10年間とします。

# 4 まちづくりの大綱

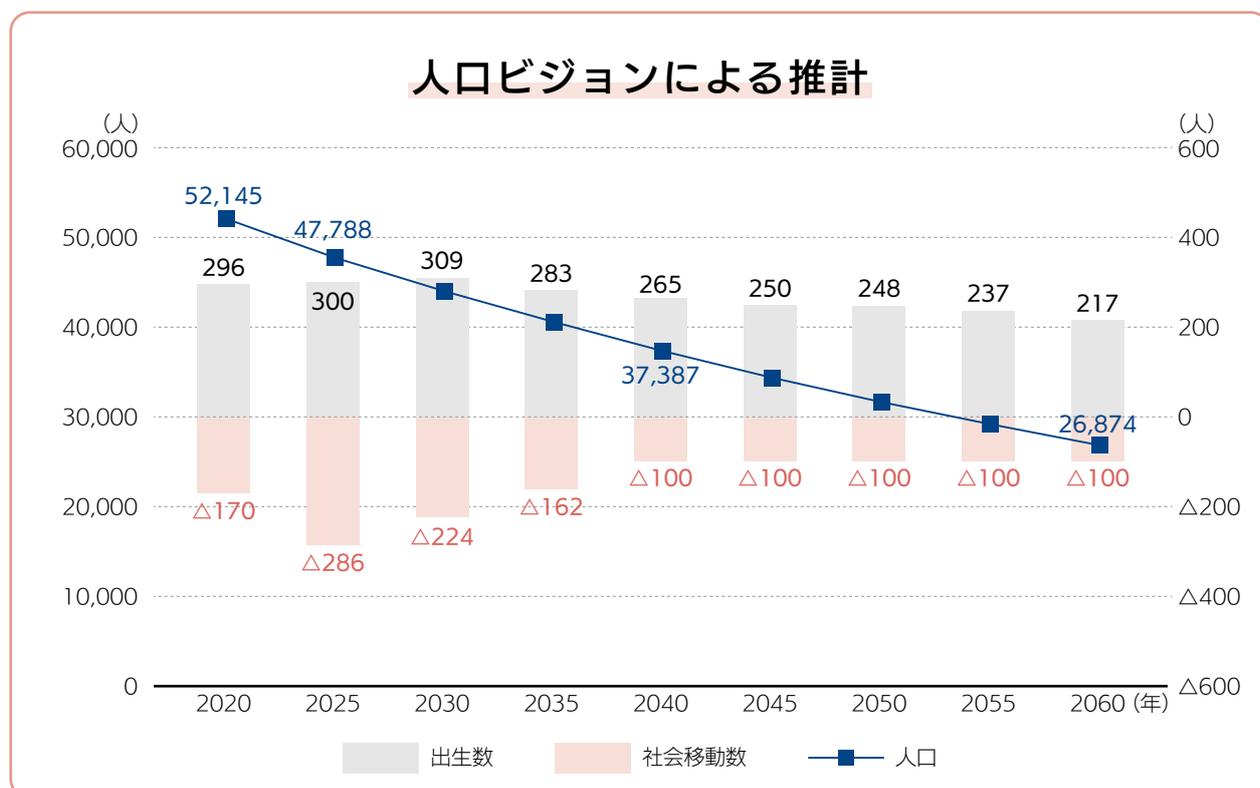
将来像を実現するために、次の7つの「まちづくりの大綱」を掲げ、積極的に推進します。



## 5 基本指標

人口ビジョンを踏まえ、10年後の基本指標を次のとおり設定します。

基本指標	策定時	令和7年度 (目標・推計値)
人口 (住民基本台帳)	平成27年度末 <b>56,159人</b>	<b>47,800人</b>
出生数 (住民基本台帳)	平成26年度実績値 <b>年間442人</b>	<b>年間300人</b>
社会増減数 (住民基本台帳)	平成26年度実績値 <b>年間▲319人</b>	<b>年間▲286人</b>



## 6 土地利用構想

### 1 土地利用の基本方針

各地域の魅力や特性を活かして次の4つのゾーンを設定し、将来像の実現に向けて効率的で効果的な土地利用の推進に努めます。

- ① 経済・文化交流都市ゾーン
- ② 水産資源保全・活用ゾーン
- ③ ふるさと交流・定住ゾーン
- ④ 森林資源保全・活用ゾーン

また、各ゾーンにおける特性や地理的条件を踏まえて整備拠点エリアを設定し、各ゾーンを結んだ広域的ネットワーク化により、海辺部と農村部、山間地域の連携強化を図りながら、魅力あふれる一体的なまちづくりに努めます。

### 2 土地利用の方向性

#### ① 経済・文化交流都市ゾーン

浜田地域の市街地を経済機能と学習・学術文化に関する交流機能等が集積し、本市の中核拠点にふさわしい都市基盤を備えた「経済・文化交流都市ゾーン」として整備します。

#### ② 水産資源保全・活用ゾーン

日本海に面した海岸地域と水産資源を有効に活用し、生産性の高い漁業振興と多彩な交流機能の充実を図る「水産資源保全・活用ゾーン」として整備します。

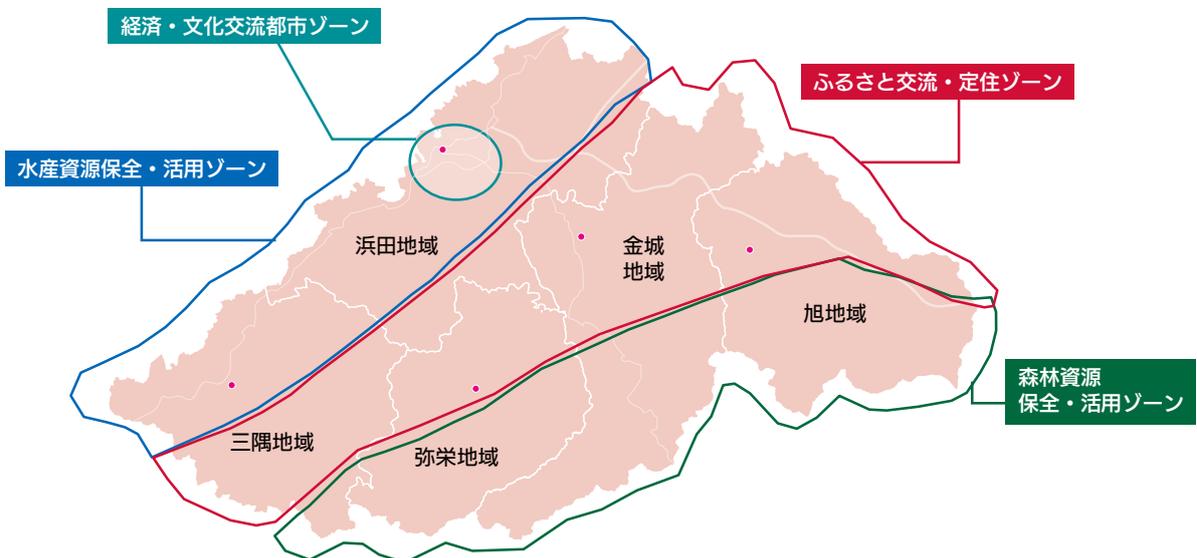
#### ③ ふるさと交流・定住ゾーン

浜田地域の郊外と金城・旭・弥栄・三隅地域を美しい農村環境と生活基盤が充実し、都市との交流が促進される便利で快適な定住機能を持つ「ふるさと交流・定住ゾーン」として整備します。

#### ④ 森林資源保全・活用ゾーン

中国山地に広がる山林地帯を自然環境保全、レクリエーション、水源かん養、新たな資源活用等、豊かな森林の保全と多面的な活用を図る「森林資源保全・活用ゾーン」として整備します。

### 土地利用のイメージ



# 第 3 章

## 後期 基本計画

# 第3章 / 後期基本計画

## 第1節 後期基本計画の概要

### 1 計画の期間

後期基本計画は、令和4(2022)年度から令和7(2025)年度までの4年間とします。

### 2 計画の性格

後期基本計画は、基本構想に示す「将来像」の実現と「基本指標」を達成するため、7つの「まちづくりの大綱」に基づき、具体的な施策展開の方向である「基本方針」や「主要施策」を示すものです。

前期基本計画の進捗状況を踏まえ、まちづくりの大綱に基づく「部門別計画」と「地域別計画」を示すとともに、本市の重点課題である人口減少対策に取り組むため、「若者が暮らしたいまちづくり」を中心とした施策を展開します。

### 3 計画の考え方

後期基本計画の推進に向けて、次の4つの考え方を基本とします。

#### ① 若者が暮らしたいまちづくり

人口減少、少子化の要因の一つである「若者の減少」に重点を置き、令和3(2021)年2月に策定した「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス」の施策を引き継ぐとともに、若者が暮らしたい、住んで良かったと思えるまちづくりとなる計画とします。

#### ② 協働のまちづくりの推進

本市は、人口減少や少子高齢社会に対応するため、新しいまちづくりに向けた基本的なルールとして、令和3(2021)年4月に「浜田市協働のまちづくり推進条例」を施行し、新たなまちづくりがスタートしました。

後期基本計画は、市民やまちづくり活動団体、事業者、NPO、行政など、それぞれの主体が対等な立場で手を取り合い、「みんなが笑顔で暮らせるまち」を未来に残すための取組がさらに推進されるための計画とします。

まちづくりを「自分ごと」として考えてもらうため、「元気な浜田づくり市民委員会」でいただいた意見を参考に、市民一人一人 企業や団体 地域 でできることを『吹き出し』で記載しています。

#### ③ 地域の個性を活かしたまちづくりと住民自治の推進

浜田市協働のまちづくり推進条例 第3条の基本理念にもあるように、本市の自然、伝統及び文化を次世代に継承し、地域の個性を活かしたまちづくりを推進するとともに、地域の皆さんが主役となってまちづくりを進めることができる計画とします。

#### ④ 主要施策等の明確化

後期基本計画は、前期基本計画の考え方を引き継ぎ、基本構想に掲げる7つの「まちづくりの大綱」に基づく施策大綱を進めるため「現状と課題」「基本方針」「主要施策」を示し、より具体的で実効性のある計画とします。

また、各主要施策に数値目標(KPI)を設定することにより、その目標に対する各年度の進捗状況が客観的に把握できるよう示します。

## 第2節 まちづくりの展開

### 1 部門別施策体系

将来像	まちづくりの大綱	施策大綱(総合戦略の基本方向)	主要施策
住みたい住んでよかった魅力いっぱい元気な浜田	<b>I</b> 活力のある産業を育て雇用をつくるまち 【産業経済部門】	1 水産業の振興 2 農林業の振興 3 商工業の振興 4 国際貿易港浜田港を活用した産業振興 5 観光・交流の推進 6 企業立地による雇用の推進	5 施策 4 施策 3 施策 3 施策 4 施策 2 施策
	<b>II</b> 健康でいきいきと暮らせるまち 【健康福祉部門】	1 医療体制の充実 2 健康づくりの推進 3 子どもを安心して産み育てる環境づくり 4 高齢者福祉の充実 5 障がい者福祉の充実 6 地域福祉の推進	4 施策 5 施策 3 施策 4 施策 3 施策 3 施策
	<b>III</b> 夢をもち郷土を愛する人を育むまち 【教育文化部門】	1 学校教育の充実 2 家庭教育支援の推進 3 社会教育の推進 4 生涯スポーツの振興 5 歴史・文化の伝承と創造	3 施策 2 施策 3 施策 3 施策 5 施策
	<b>IV</b> 自然環境を守り活かすまち 【環境部門】	1 地球温暖化対策の推進 2 循環型社会の構築 3 環境保全と快適な住環境づくりの推進 4 特性を活かした景観形成の推進	2 施策 2 施策 4 施策 2 施策
	<b>V</b> 生活基盤が整った快適に暮らせるまち 【生活基盤部門】	1 道路網の整備 2 公共交通の充実 3 地域情報化の推進 4 充実した都市基盤の整備 5 快適な生活基盤の整備	4 施策 3 施策 3 施策 3 施策 4 施策
	<b>VI</b> 安全で安心して暮らせるまち 【防災・防犯・消防部門】	1 災害に強いまちづくりの推進 2 地域防犯力の強化・交通安全対策の推進 3 消防・救急体制の充実	4 施策 2 施策 5 施策
	<b>VII</b> 協働による持続可能なまち 【地域振興部門】	1 地域コミュニティの形成 2 人がつながる定住環境づくりの推進 3 大学等高等教育機関と連携した地域づくり 4 人権を尊重するまちづくりの推進 5 男女共同参画社会の推進	4 施策 4 施策 3 施策 1 施策 2 施策

## 2 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

### 総合振興計画 後期基本計画

～若者が暮らしたいまちづくり～

まちづくりの大綱		施策大綱(基本方向)
<b>I</b>	活力のある産業を育て雇用をつくるまち 【産業経済部門】	6項目
<b>II</b>	健康でいきいきと暮らせるまち 【健康福祉部門】	6項目
<b>III</b>	夢をもち郷土を愛する人を育むまち 【教育文化部門】	5項目
<b>IV</b>	自然環境を守り活かすまち 【環境部門】	4項目
<b>V</b>	生活基盤が整った快適に暮らせるまち 【生活基盤部門】	5項目
<b>VI</b>	安全で安心して暮らせるまち 【防災・防犯・消防部門】	3項目
<b>VII</b>	協働による持続可能なまち 【地域振興部門】	5項目

### 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

横断的な目標 新しい時代に向けた持続可能なまちづくり

基本目標 **1**

産業振興と企業立地  
による雇用の創出

基本目標 **2**

子どもを安心して産  
み育てる環境づくり

基本目標 **3**

U・Iターンや定住  
の促進とふるさと郷  
育の推進

基本目標 **4**

地域の特性を活かし  
た安心して暮らせる  
はまづくり